

# お茶会だより 8月号

矢島保壽園 R5.8.23

先月に引き続き、総合案内所でのお茶のお稽古でした。前回書いた「敷居を踏まない」という作法に気が付いたら取り組む姿がみられました。お菓子やお茶を運ぶことに集中してしまい、敷居の存在を忘れてしまう姿も見られたため声をかけたばかりに意識できるようにしています。

今回のお稽古では、お箸を使う作法に挑戦しました。箸を手に取る際の「順序があり、先生のお手本を見ながら右手で上から持つ、左手で下から支えて箸の持ち方に直す」と考えながら一つ一つ丁寧に手を動かしていました。また、普段使っている箸よりも大きい箸だったこともあり、上手くお菓子を掴めずに何度も持ち直す様子も多く見られたので、お稽古でした。箸の持ち方は、鉛筆の持ち方にもつながるため、日々の生活の中でも意識して取り組んでいきたいと思っています。

また、植田先生からは「正しい姿勢や背すじを伸ばすことも意識して頑張ってくださいね」とのお言葉がありました。長い時間の正座は子ども達にとって大変ではありますが、回を重ねることに背すじを伸ばしてお稽古に取り組みやすいように心がけています。普段から正座や背すじを伸ばしてお話を聞くことばかり声をかけたばかりに自分の気がついて意識していきやすいようにしています。

## 【今月の床の間】



《掛け軸》「とんぼ とべとべ あおいそら」



「暑い中にも沢山のとんぼが飛ぶ様子に秋が近くまで来ていると感じました。」と植田先生からお話がありました。残暑に合わせた床の間となりました。

《香合》「うちわ」



《茶花》

ミズヒキ・ススキ・シュウカイドウ  
フウセンカヅラ・オミナエシ

## 【お茶会の様子】

植田先生から目を離すことなく真剣にお箸の使い方をお話を聞いていました。その後は、一人一人がゆっくと確かめながらお箸を使いました。

今日のお菓子は  
お箸を使います。



お皿に手を  
そえて…



右手で取って左手で  
支えて…。



お菓子をお客様のところにお運びした後、皆さんにお菓子がいきわたるのを見ている姿もとても背すじが伸びて立派でした。



次回もお箸を使ってのお稽古となります。食事の時の箸の持ち方に気をつけ、正しい持ち方が身につけていけるようにしたいですね。